

あなたの「何かできるかな」を応援する

プラスワンメールマガジン

★一 第81号 平成29年2月2日 一★

早いもので2月となりました。寒い日が続きますがみなさんいかがお過ごしでしょうか。

さて、このメールマガジンでは、地域でいきいきと活動している皆さんをご紹介します！読者の皆さまに何か新しい発見や出会いのきっかけをお届けできたらいいなと思っておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします(*^_^*)

第 | 81 | 号 | 【1】 休日は漁師たちと浜の活性化活動

— — — 高等水産講習所 千々波行典

も | く | じ | 【2】 プラスワン、してみませんか？

— — — 読み聞かせボランティア「花みずき」



■ □ 【1】 休日は漁師たちと浜の活性化活動

□ 高等水産講習所 千々波行典



私は、休日を利用して、玄海の漁師たちが自分たちの生活と産地としての生き残りをかけて立ち上げた NPO 法人浜一街交流ネット唐津の活動を支援しています。NPO 発足のきっかけは、10 年ほど前に漁師たちとの酒の席で、ある漁師が「魚を消費者に直接売ってくれる会社のような組織をつくることできないだろうか。今のように魚市場の値段が安くては俺たちの生活も厳しいし、後継者も育たず産地として生き残れない」と話したことでした。彼は、当時から消費者へ直接販売する取り組みを始めていましたが、漁業を営みながらの情報発信、受注や消費者とのやりとりなどの作業に限界を感じていました。

最近の漁業を取り巻く流通・消費環境は、刻々と変化しています。私が佐賀県へ就職した昭和 59 年頃は、まだ魚の消費量も多く魚価も高く、漁師達は魚を魚市場に出荷すれば十分な生活ができた時代でした。しかし、その後国内経済はバブル崩壊とともにデフレによる価格低下と消費低迷が長期化しています。漁業の場合、さらに量販店の魚市場への買い付け参入による競り値下落や若年層を中心とした魚食離れが進んでいます。国内の産地では、行政が魚を少しでも高く売るためのブランド化や付加価値を高めるため 6 次化への取り組みなどの支援を始め、生産者組織も飲食店などへの営業活動を始めていますが、産地間の価格競争や商社による海外の安い魚の輸入販売などの影響により、思ったような成果が出せない状況です。

昨年末に農林水産省が発表した農業競争力強化プログラムでは、生産者が有利な条

件で安定取引を行うことができる流通・加工の業界構造の確立がひとつの目標としてあげられ、具体的には農産物を実需者・消費者に直接販売するルートの拡大を推進することとしています。漁業も市場流通だけに頼らず、刻々と変化する国民の生活スタイルやニーズに対応した取り組みによる漁家経営の向上を図る必要があります。しかし、現状では多様に変化している市場外流通に対する行政や生産者団体の支援や取り組みには限界があり、これまでにない新たな発想での販売ルートの拡大へ向けた取り組みが必要になっています。

私は、漁師達が自分たちで取り組み始めた消費者への直接販売による経営改善へ向けた活動を、これまで行政で身につけた知識や情報網・人脈を使って手探りながら支援することにしました。当初は軽い気持ちで支援を始めましたが、実際に取り組んでみると、活動資金の確保、情報収集のための浜廻り、交流事業の企画や開催、商品の受注と漁師への発送連絡、さらには消費者からの料理方法等の問い合わせなどに追われ、ほとんどの休日をこれらの作業に充てる羽目になってしまいました。

NPO 活動に関わるまでの休日は、テニスと家庭菜園での野菜づくり中心の生活でしたが、今はコートへは月に2、3日行ければよいほうで、菜園は女房に任せっきりです。なぜそこまで自分の時間を使って・・・という友人もいます。しかし、「漁家経営を向上させること」が水産技術職員として入庁したときからの目標でしたので、私はプラスワン活動ではなく、あくまで仕事の一環ととらえています。今後も仲間の漁師たちと楽しい酒を飲むことができるように、さらに組織を強化し、体力が続く限り支援を続けようと考えています。

□ ■ □

■ □ 【2】プラスワン、してみませんか？

□ 読み聞かせボランティア「花みずき」

■

□

今回は、小城市で読み聞かせのボランティア活動に取り組まれている「花みずき」の井上岡子代表に、団体の概要と活動についてお聞きしました。

（聞き手：小城市社会福祉協議会職員）

読み聞かせボランティア「花みずき」は、平成17年に読み聞かせの講習を受けた後、希望者が集まって発足しましたグループです。現在のメンバーは18名おり、その中には小学生2人と中学生1人もいます。これはメンバーにお母さんがおり、小さい頃から参加してくれているためです。

私たちの活動は、主に小城市の桜楽館（さくらかん）を拠点にした子育て支援のなかよし広場・こすもすグループ、小城図書館のおはなし会、小学校の放課後児童クラブ、老人保健施設、多久市や吉野ヶ里町三田川のデイサービスなどで、おはなし会をしています。

その中でも大きなイベントは、例年8月頃に行われる『小城図書館の夏のおはなし会』と、10月頃に行われる『おはなしフェスタ in おぎ』です。『小城図書館の夏のお

はなし会』は、花みずきグループで単独で、『おはなしフェスタ in おぎ』は、小城市内の小学校で朝の読書活動をしている4つのグループと合同で、各グループから1つの出し物を持ち寄って開いています。

私たちは、半年くらいの期間をかけて、この二つのイベントでの出し物について話し合いを行い、製作や練習をして仕上げていきます。今年は「スイミー」の影絵をしました。

読み聞かせをする相手は、幼児や小学生の時もありますし、高齢者の場合もありますので、その時々合った絵本や紙芝居、パネルシアター、ペープサート、人形劇、劇などを行っています。

また、おはなしだけでは退屈されるので、季節に合った童謡や唱歌、演歌、落語、手品、クイズ、手遊び、工作等も織り交ぜて、聞いてくださる方々の笑顔に会えるのを楽しみに、私たちも楽しんで元気を貰っています。

毎月第2金曜日の定例会では活動報告と今後の予定について話し合い、第4金曜日は練習と製作に充てていますが、長続きするためには、無理をせず、その時々に参加できる人が行くこと、遠慮せずお互いに「こうした方がいいのでは？」と意見を出し合うことだと思います。

毎月、第2・第4金曜日午前10時から12時まで小城市の桜楽館で活動していますので、興味がある方はお越しください。メンバー募集中です。

【問合わせ】

社会福祉法人 小城市社会福祉協議会

TEL 0952-73-2700

★これまでの『プラスワンメールマガジン』については、佐賀県ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.saga.lg.jp/list03176.html>

★『さがCSOポータル : <http://www.cso-portal.net/>』絶賛更新中！

佐賀県で唯一のCSO情報ポータルサイトです。CSOが開催するイベント情報やボランティア情報、助成金情報などを発信しております。

★『CSO・ボランティアネット（携帯・PCメールでの有益情報）』配信中！

CSO関連の有益情報（イベント・助成金情報等）をタイムリーにメールでお届けします。まずはお気軽に「CSO@123123.tv」に空メールをお送りください。

県では、CSO関係者や県民の皆さまにとって役立つ情報を広くお知らせしていきたいと考えています！お知り合い等にもメール情報を転送して登録をお勧めいただくことで、情報の輪が広がれば幸いです。

さらに役立つ情報をお届けできるよう、皆さまからの情報提供・ご意見もお待ちしております。

